Cisco Unified Communications Managerの任意のファイル読み取りの脆弱性

Medium	**アドバイザリーID :** Cisco-SA-20140212-CVE-2014-0724 **初公開日 :** 2014-02-12 18:28 **バージョン 1.0 :** Final **CVSSスコア :** 4.0 **回避策 :** No Workarounds available **Cisco バグ ID :** CSCum05340	CVE-2014-0724

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Cisco Unified Communications Manager(UCM)の一括管理インターフェイスの脆弱性により、認証されたリモートの攻撃者が基盤となるファイルシステムから任意のファイルを読み取る可能性があります。

この脆弱性は、入力に対する不十分な検証に起因します。攻撃者は、一括管理インターフェイスの特定のプロンプトで巧妙に細工された入力を提供することにより、この脆弱性を不正利用する可能性があります。この不正利用により、攻撃者は基盤となるオペレーティングシステムから任意のファイルを読み取る可能性があります。

シスコはセキュリティ通知で脆弱性を確認しましたが、ソフトウェアアップデートは利用できません。

この脆弱性をエクスプロイトするには、攻撃者がターゲットデバイスに対して認証を行う必要があります。このアクセス要件により、不正利用が成功する可能性が低くなります。

シスコはCVSSスコアを通じて、機能不正利用コードが存在することを示していますが、このコードが一般に公開されているかどうかは不明です。

該当製品

影響を受ける製品バージョンの完全なリストについては、Cisco Bug ID CSCum05340を参照してください。

脆弱性のある製品

このアラートが最初に公開された時点では、Cisco UCMバージョン10.0(1)以前には脆弱性が存在していました。Cisco UCMの新しいリリースにも脆弱性が存在する可能性があります。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

他のシスコ製品においてこのアドバイザリの影響を受けるものは、現在確認されていません。

回避策

今後のアップデートやリリースについては、ベンダーに連絡することを推奨します。

信頼できるユーザだけにネットワークアクセスを許可することを推奨します。

管理者は、特権を持つユーザだけに管理システムまたは管理システムへのアクセスを許可することを推奨します。

影響を受けるシステムを監視することを推奨します。

修正済みソフトウェア

ソフトウェアの更新プログラムは利用できません。

不正利用事例と公式発表

Cisco Product Security Incident Response Team（PSIRT）は、本アドバイザリに記載されている脆弱性の不正利用事例やその公表を確認していません。

URL

https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/Cisco-SA-20140212-CVE-2014-0724

改訂履歴

バージョン	説明	セクション	ステータス	日付
1.0	初版リリース	適用外	Final	2014年2月12日

利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。 本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。 また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意訳を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。 このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。

翻訳について
シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。